

目次

- 1P 会長あいさつ
- 2P 全国大会 Cブロック研修
- 3P 日井ふるさとまつり  
ユーカリフェスタ
- 4P～5P 特集「私はいま…」
- 6P 愛LOVEファミリー エコ活動  
ひとりごと

サロン Vol.32

# Salon

発行者  
佐倉商工会議所女性会  
会長 井野口 綾子  
A.D. 佐倉市表町 3-3-10  
商工会議所内  
TEL. 043(486)2331  
FAX. 043(486)5963

## 天に向かって昇る龍のように…

(株)井野口建材 佐倉商工会議所女性会会長 井野口綾子



想像を絶する数々の出来事が凝縮された二〇二一年も、あと数日を残すのみとなりました。

会員の皆様には、明日に繋がる締めくくりの多忙な日々を恙なくお過しのことと、お喜び申し上げます。

又、この有事の時でさえ女性会活動に変わらぬご協力を頂きましたこと、しみじみと有難く心より感謝申し上げます。

### 恒例事業を終えて

今期は震災を受けての変則的な活動となりましたが、節電をテーマにした地区懇談会の成果は、今冬にも充分に活かされていると思えます。

大切な地域の皆様との交流も「日井ふるさとにぎわい祭」「ユーカリフェスタ」にフェイスペイントで参加することにより実現できました。多くの方々にご支援頂いておりますエコキャップ回収と共に、継続したい事業の一つです。

### 笑顔…そして親睦の輪

十一月八日には「サロン」前号でお知らせしました通り、県女性会連合会広域事業であるCブロック研修が行われました。当女性会が主幹でもあった大きな事業でしたので、新旧事務局の鶴岡氏、三谷氏には綿密な計画から実行に至るまで、大変なご苦労をお掛けいたしました。

又、研修の受入れを快諾して下さいましたD I C川村美術館の担当者様、レストラン「ベルヴェエデーレ」のマネージャー様との事前打合せでは、私達の計画を良くご理解いただき、配慮の行き届いたご提案やご対応に、大きな安心感

を頂きました。おかげさまで当初の予想をはるかに越えて、七単会一四二名様のご参加は、この上もなく嬉しいことでした。

開会に当り、鈴木博会頭様から歓迎のお言葉と共に、佐倉のPRもして頂き、より良い研修のスタートが出来たことも幸いでした。三班編成のタイトなスケジュールでしたが、副幹の八街女性会様と一緒に精一杯の笑顔でお迎えすることが出来ました。

皆様が非日常な時間を楽しんで下さり、親睦の輪が更に広がったことを実感すると共に、佐倉の会員様の柔軟な対応に「流石」と感じ入り盛会の証しを見た思いました。関係各位様に心より御礼申し上げます。

### プラスワンをめざして

震災を体験して私達は人の“和”と“絆”の大切さを再認識いたしました。命の尊さ愛おしさを痛感しました。新しい価値観をもって生きる覚悟も出来ました。

今号の特集「私はいま…」にご寄稿頂いた文に、その想いが溢れておりました。

背負っていくものが例え大きくても、何処かに心のゆとりと感謝の気持を持ち乍ら、凛として歩まれる女性会の皆様を私は誇りに思います。

この企画をして下さった広報委員さん達の時節を見る確かな目に今後も期待します。さて国内の景気は、海外経済の動向やアクシデントに左右される不安定な状態が続いています。私達はいつものスタンスを崩すことなく、新しい年にダッシュして参りましょう。

来年は辰年。天に向かって昇る龍のように…。

女性会事業も商工女性である私達のプラスワンになるような企画を、皆様と一緒に考えていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。皆様にとって新しい年が、平和で穏やかな年になりますようお祈り申し上げます。

**お知らせ**  
平成24年2月8日(水)  
今話題の  
**タニタの講習会がやってくる!**  
詳細は別紙をご覧ください



# 第四十三回 全国商工会議所 女性会連合会 浜松大会開催

去る十月六日・七日第四十三回全国商工会議所女性会連合会 浜松大会が浜松市アクトシティにて開催され当女性会からも井野口会長、三橋副会長、村上監事が参加してきました。当日は、約二千六百名の参加者が二つの会場に分かれて親睦及び交流を深め日本商工会議所の公式ツイッター「喫茶店のマスター」いわく「日本最大の女子会」ともいわれるほどの盛況ぶりでした。  
次年は、北九州です。是非参加しましょう！

## 県女連広域事業

### Cブロック研修

#### D I C 川村記念美術館開催

平成二十三年度県女連広域事業Cブロック研修が十一月八日、D I C 川村記念美術館において、銚子、佐原、茂原、東金、八街、成田、県連事務局(総勢百四十四名)の方々をお迎えし開催されました。  
秋色が日に日に濃くなってきた十一月、定刻に各会員の皆様が到着し式典が行われ、井野口会長、酒井会長(八街)、鈴木会頭の挨拶がありました。

その後、佐倉商工会議所女性会の会員は、他会議所のおもてなしを兼ねて、二班に分かれての行動となりました。

まず、美術館においては、美術作品の製作にまつわる時代背景や心情についての解説(二十世紀の抽象画家モネ、ルノワール、ピカソ等)をしていただきとても深く脳裏にやきつき美術作品から学ぶものが多くありました。そして、次に庭園の散策です。ゆったりとした庭園内は、良く手入れがされていて、真っ赤なもみじ、紫色の優しいなホトトギス、りんどう、アザミ等が咲き誇っていました。さらにその奥には、ジューガツザクラが愛らしくお迎えをしてくれたかのようで、おもわず笑顔がこぼれました。

参加された皆様は、花談議などで盛り上がり日頃の忙しさを忘れて楽しいひとときを過ごす事ができました。

さまざまなお近づきになり、交流が深まり親睦を図る良い機会になりました。

幅広い方々と出逢えるのも女性会ならではの事と思います。





# 恒例!! フェイスペイントで大盛況!!

第十六回

## 臼井ふるさと にぎわい祭り

八月二十日(土)

今年の祭りは節電を考慮しながらも、大盛況のにぎわいをみせました。地域の皆様との温かい交流ができたことは、とても大事なことだと思いました。

毎年恒例になった女性会ブース「フェイスペインティング」は今年で四回目になります。始まる前から行列がでるほどに人気が高まりました。

大人も子供達も、実行委員のみなさんも、ほっぺや腕に絵を書いてもらって、うれしそうに微笑んでいました。

最後に吉田とく女性会相談役より閉会の挨拶があり、無事に終了しました。ご協力ありがとうございました。



## ユーカーリフェスタ2011

10月29日(土)前夜祭30日(日)本祭があり、会場にはいろんな模擬店やイベントが盛りだくさんで来場者もいっぱいでした。女性会も例年通りフェイスペインティングでお手伝いをしました。皆様のご協力に感謝!





# いま... 第一弾

今回の特集は  
 会員の方に  
 「今、夢中になっていること」  
 「これからやってみたいこと」  
 「今思うこと」  
 などを聞いてみました。



目下、子育て、仕事に追われる毎日です。時間に追われ一週間、一ヶ月あつという間です。「疲れた、自分の時間がない」等、愚痴を言うのに、いざ自由な時間が出ると何もすることがないので、趣味もなく、一緒にお茶をする友達がいなくて、寂しいかぎりです。これから、仕事も子供もめきにして、打ち込めるものを見つかけたいです。

現在三十代。四十代、五十代になつた時に充実した時間を過ごせるように、色々挑戦してみたいと思います。

でもまず今は、一生懸命働かないと・・・。



私は末の子が小学校に入ったのを期に週一で卓球を始めました。

キャリアだけ長く自力が伴わないのですが健康のため楽しんで遣っています。

今、頑張っている事があります。

三月十一日から私も世の中も変わったと思います。いつでもいいと思っていた想いを実行に移そうと考えた事です。

お店を開店して来年二月で満十八年です。来年四月銀座二丁目のギャラリーで展示販売の発表会をします。今はそれに向かつて作品を創作・製作中で想いはいっぱいです。形になっていく事は楽しいですが、自己満足の世界では...。

一人で頑張っているのではなく、家族や友人と力を合わせて開催の日に向かっています。来場してくださる方々に楽しんで頂けるよう想いを込めて！

好きなことが出来ることに感謝です。一日一日を大切にし、前に向かつて進みたいと思っています。今までの積み重ねを土台にしてさらに良いものが生まれるように努力したいと思います。



「幸せの価値観」

この十年ばかりの間に世の中のシステムが猛スピードで変わり続けています。インターネットの普及や総デジタル化、大量生産、大量消費、グローバル経済。それに伴ってか自然破壊と温室効果ガス現象、エネルギー問題。そこへ衝撃の東日本大震災が！

福島原発事故と放射能汚染。震災から半年以上になりますが、今までの価値観を大きく揺さぶることになりました。

振り返れば昭和二十年の終戦後日本人々は「幸せ」を求めて常に新しい物を作りあげて突き進んできました。

皆一様に文化的な生活が出来るようになると欲望は、さらに膨れ上がり溢れる物の中に身を置くようになりました。

ひとつの町が巨大な津波にのまれ、家や車と一緒に多くの人々が連れ去られる映像を目の当たりにした時「いったい幸せとは何か」と考えざるを得ませんでした。原発事故も東電や政府行政の責任だけではありません。大災害を機にもう一度「幸せの価値観」を再構築するべきではないでしょうか。







# 特集

# 私は

商売が落ちついたら、自分の時間がとれるかしらと、希望をいだいていたのですが、現状維持の状態です。子供達が小学生の時に受けたボランティアの一つで畑の学校の手伝いを今でも続けています。体が疲れているときでも、緑の木々に囲まれた畑に行くと、気持ちが一掃としますね。何も考えずに草むしりをする事が、無の状態でも癒やしの一助です。都会育ちの私にとって土いじりは新鮮です。でも、蛇だけはいまだに苦手で大嫌いです。

これからしたいことは、墨絵への再挑戦です。過去に大病をした折、心の支えになつてくれたものです。モノトーンの世界にわずかな色彩を加えると、みるみる生氣にあふれ、病後の不安のある身には希望の光のように見えました。思いもかけず美術展で賞も頂きました。

おかげ様で今は元気に仕事をしていですが時間に余裕ができたなら、又あの感動を味わいたいと願っております。

私が今夢中? になっている事は、正に今ブームの韓流ドラマ、k-popで、二年位前から娘の影響で興味を持つようになりました。支持されるのには、厳しい練習で鍛えられた実力の裏付けがあり、何事にも通じる物だと思えます。

娘と共通の話題で盛り上がったり、一緒にコンサートに行ったりして、楽しい時間を過ごしております。

私の年齢になると、あれもしたい、これもしたいと思えますが、思うだけで…。石川遼君が使っていると、いう英会話などはライフワークにして習ってみたいですね。そしてあまり体に負担の掛からないヨガや太極拳、そして結婚前に習っていたラワーデザインなどは、もう一度チャレンジしたい事の一つです。何事も自分から求めていかなくは、事が進まないですが、商売をしていると、なかなか時間が合わない事が現実です。歳はとつても、いつの日か…との思いで夢だけは持ち続けていきたいと思います。

3.11 大震災にあつて、家族とは…夢とは…希望とは…  
 そういった何か思いが皆様の心に生じたのではないがと思ひ、何人かの方に聞いてしてみました。日頃お忙しく働いている中で感じている思いや喜びを知ることができ微笑ましく思いました。寄稿いただきました皆様ありがとうございました。次回第二弾もお楽しみに!

二〇一一年三月  
 十一日の出来事で、永久に日常が続くと思つていた事が、違ふと思ひ知らされ、今を大切にしようと思ひ決めました。

とても出来ないと言ふけれど、今しかチャレンジ出来ないかもしれないと思うと、いままで怖くて尻込みしていたスキューバダイビングを六月に始めライセンスを取得しました。震災がなかつたら、きつと取らなかつたと思います。

まだまだ初心者で、優雅にダイビングを楽しんでいまずとは言えませんが、海の中は楽しいです。こんな唄がありましたよね。「龍宮城に来てみれば、絵にも描けない美しさ…。」大きなサンゴ礁の上を乱舞するたくさんの色とりどりの魚や大きなウミガメがゆつくりと海の上を目指して泳いでいる姿を下から見上げると、海の上から陽がさして、形容できないくらい素晴らしい景色…。海の中にいると、時間も日常生活も忘れていきます。

今の時間を大切に、そして今を最大限に楽しんでいきたい。





# 愛 LOVE ファミリー

旬読売サービスセンター

石渡 敦子

本人



後列左から長男、夫、義父、長男の嫁、前列孫たち

次男夫婦

二〇〇七年に長男が、二〇一〇年に次男が結婚別世帯で生活を始めました。今では月に二〜三回都内に住む次男夫婦が来ると長男家族を呼んでワイワイと夕食を囲みます。

夏はバーベキュー、冬はお鍋、買物から洗い物まで家族皆で手分けをします。一番働くのは幼少時代やんちゃ坊主だった次男。終始漂々としてピアノなんぞ弾いてウロウロする

のは長男。夫は火番と味付け。孫の世話はパパの私。大ジイジの部屋をおもちやでいっぱいにして遊びます。お嫁さん一人は偶然にも実家は愛媛県松山市。次男のお嫁さんのお国なまりが今までと違った雰囲気を感じ出します。女三人のおしゃべりが延々と続きます。

でも何といつても主役は一人の孫。この春から幼稚園に通い始めた三才のお兄ちゃんに負けていない一才の女の子の言動は仕事の疲れを吹き飛ばしてくれます。

私達夫婦が結婚して三十二年。節々に我がファミリーと一緒に食卓を囲み楽しいひと時を過ごしています。



## 奉仕事業部

### 第6回 エコキャップ回収報告

累計 1,089,200個 (10/31現在)  
【ポリオワクチン1,361.5人分】

「捨てればゴミ 集めればワクチン」  
ペットボトルキャップ 800個で  
1人の命が救える!貴重な資源です!

私達にできる  
エコ活動

- 3つのお願い
- ・できるだけ水で洗ってください。
  - ・レジ袋などにに入れてください。
  - ・ペットボトル以外のふたは回収できません。

下の写真は回収できないものです。



これからもご協力を  
よろしくお願いいたします。



連休明けの十月十一日(火)朝早くから十三名が集まり、作業を始めました。会話を楽しみながらも作業は早く、指定の搬入袋がどんどん山積みになっていきました。

九時半すぎに広域高速ネット296の方が取材に来て、井野口会長は、この事業をはじめたきっかけや作業内容などを質問され、取材に応じました。



## ひとりごと

右も左もわからないままに、広報という大役をおおせつかり、難儀していたのが本音、「いいものをつくらう」という意識に変化。今までにない体験をさせてもらっています。また忘れてはならないのはいい先輩に恵まれたことです。これに満足することなく上を向いていきたいものです。因みにその広報紙が目につく「やまとなでしこ」です。